

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 経企-18 平和推進事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	文化人権推進課	関連課					
分野名	平和・人権						
目標 (目標値)	平和意識の醸成 平和の大切さを考えるための事業の実施や市民などの活動への支援を行います。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	4,014人	4,410人	3,845人			
事業の対価	1,225	874	1,176				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,225	874	1,176			
	人員配置数	1.3人	1.3人	1.3人			
	人件費(千円)	10,002	10,416	11,387			
	協働のパートナー	鎌倉平和推進実行委員会	鎌倉平和推進実行委員会	鎌倉平和推進実行委員会			
		市民平和文化展実行委員会	市民平和文化展実行委員会	市民平和文化展実行委員会			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	11,227	11,290	12,563			
	市民1人当りの経費(円)	63	64	71			
	対象者1人当りの経費(円)	2,797	2,560	3,267			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
事業への市民参加	△	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5000
		実績値	5,302	3,845	4,410	4,014	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
平和推進事業	1,225	平和推進事業	991	今後の方向性	B	理由・手法	全国に先駆けて平和都市宣言を行った鎌倉市として、継続して、恒久平和の実現を訴えていく必要がある。若者向けに効率的な手法を検討していく。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 戦争体験世代が高齢化する中、戦中戦後の体験を若い世代に語り継ぐことが年々困難になることが懸念されるため、体験談を記録することが求められている。 平和推進事業の参加者は概して中高年層に偏った傾向になっているので、若い世代も多く参加できるような事業を実施していく必要がある。 具体的施策が啓発にとどまっているので、参加型イベントの検討をする。 										
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住の戦争体験者から聞き取りを行い沖縄戦体験記録DVDを作成した。 引き続き、小中学生を対象とした出前講話を実施した。 				取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き若い世代の参加が得られるよう、事業内容や周知の方法についてさらに検討していく。 啓発以外の取り組みとして、募金活動以外のイベントの検討ができていない。 										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	平和都市宣言の精神を広め、後世へ伝えるため幅広い年代層が参加できる企画立案に努めるとともに、啓発的な事業の他に市民が主体的に参加できる事業について取り組んでいく。また、引き続き体験談等を記録に残すため、DVD等の作成を行う。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	➡	B	※□事業完了	

評価者名

文化人権推進課長

春日 和美

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
平和推進事業	市民実行委員ととも講演会や音楽劇などの平和推進事業を企画実施した。芸術を通じて平和の大切さを考えることを目的とする、市民による作品展を実施した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		465	消耗品費	35	30	○	○	○	○
		465	市民平和文化展実施委託料(事務補助事務)	392	142	○	△	△	△
		465	市民平和文化展実施委託料(ポスター等印刷業務及び看板作成業務)	230	99	○	△	△	△
	465	日本非核宣言自治体協議会負担金	60	60	○	○	○	○	
	465	鎌倉平和推進実行委員会負担金	1,115	894	○	○	○	○	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								